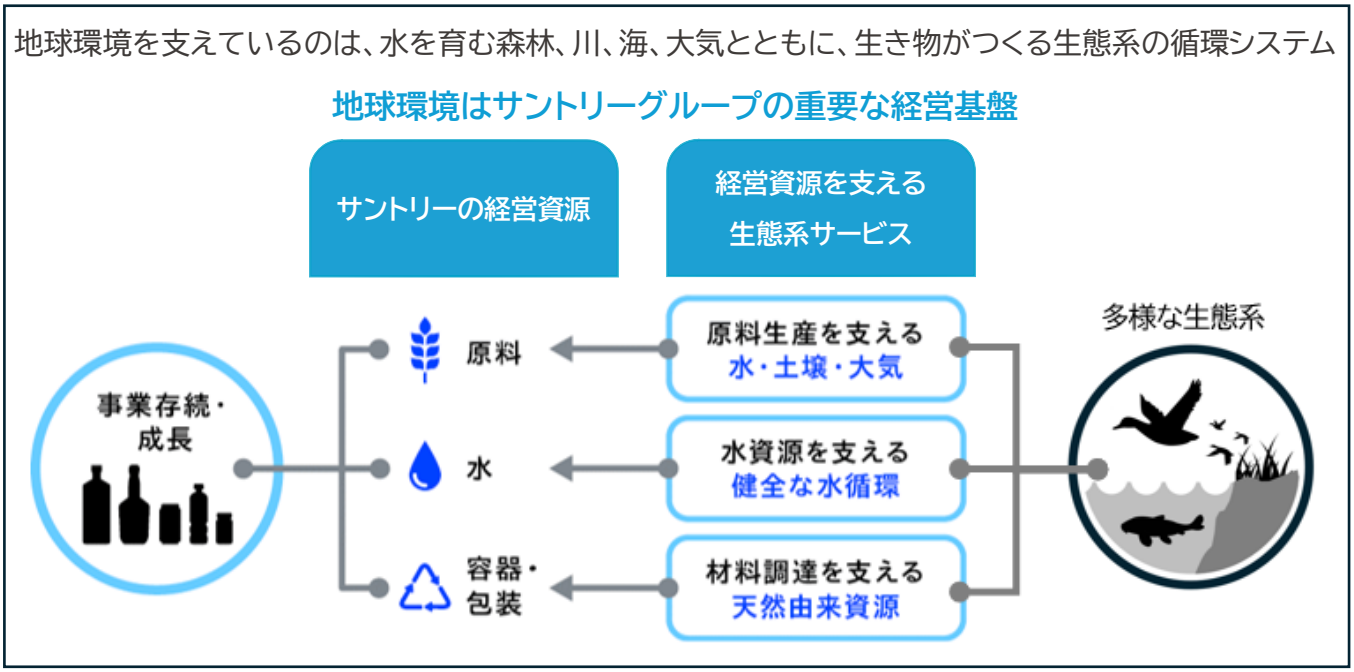
サントリーグループ　ネイチャー・ポジティブ宣言

サントリーグループは、人と自然と響きあい、豊かな生活文化を創造し、「人間の生命（いのち）の輝き」をめざす企業として、自然と共存する持続可能な社会を実現するために、積極的に自然再生に取り組みます。

「サントリーグループ環境基本方針」では、水や農作物に依存する企業として、その価値の源泉である水源や原料産地などの生態系を守るため、水源涵養活動や持続可能な農業への移行を通じて、生物多様性の保全と再生に努めることを掲げています。



サントリーグループのネイチャー・ポジティブ　アクション

サントリーグループは、多様なステークホルダーと連携し、ネイチャー・ポジティブに資する行動を推進します。

1. エンゲージメント

生物多様性の世界目標である「昆明・モントリオール生物多様性枠組」の達成に向けて、ネイチャー・ポジティブの実現に貢献する活動を推進します。

2. 水源涵養/生物多様性の再生

良質な地下水の安全・安心とサステナビリティ（持続可能性）を守るために、自社工場の水源エリアの森において、地域社会や、さまざまな分野の専門家と協力し、森林と生物多様性を保全・再生する取り組みを進めます。

3. 最適な土地利用

サプライチェーン上流では地下水と地表水に加え、花粉媒介、土地の肥沃度、健全な水循環、水質の維持、土壌侵食や病害虫の抑制、自然災害の緩和などの自然の働きに依存しています。
自然の恵みをいただく企業として、土壌の生物多様性に貢献する再生農業など、原料農作物における生物多様性の保全を進めます。

4. 循環経済に関する活動

水や農作物に加え、限りある天然由来資源を有効活用するため、原材料などの 3R（reduce, reuse, recycle）の推進、再生可能資源の利用、効率的な循環システムの構築を多様なステークホルダーと協働し、商品ライフサイクル全体での環境負荷の低減に努めます。

5. 愛鳥活動

野鳥は自然環境のバロメーターといわれています。野鳥を保護することが人間や自然環境を守ることにつながるとの考えから、サントリーグループは、1973 年から野鳥保護の重要性を社会と共有する愛鳥活動に取り組んでおり、今後も活動を継続します。

制定　2025 年 8 月